

数 専 会 だ よ り

発行人 東京女子大学同窓会数専会会長 松本友子

〒167-0041 東京都杉並区善福寺 2-23-11

Tel. 03-3395-4448 Fax. 03-3395-0084

<http://www.geocities.jp/twcumath/index.html>

【 総会報告 】

日時 2015 年 6 月 6 日 (土)
於 72 年館 1 階ラウンジ
次第

1 部 総会議事

1. 会長挨拶
2. 各部活動報告
3. 2014 年度 決算報告
4. 会計監査報告
5. 2015 年度 予算案
6. VERA 募金について
7. 夏季研修会について
8. 研究部講座報告
9. 役員常任幹事交代について
10. 今期の役員
11. 同窓会より
12. その他

議事は原案どおり全て承認されました。

2. ～5. は 6 ページをご参照ください。

6. VERA 募金について

数専会として寄付することになりました。



7. 夏季研修会について
同窓会館で開催することを案内。

8. 研究部講座報告
各講座の代表者より講座の内容、会費等紹介されました。参照 7 ページ

9. 役員常任幹事交代について
◎印の方々が新しく推薦され、総会で選出、承認されました。

10. 2015 年度役員

会 長 松本 友子 (73)

副会長 大井 美智子 (74)

◎今北 信子 (75)

常任幹事

庶務 波多野 滋子 (69)

厚生 前田 啓子 (75)

研究 大井 美智子 (74)

廣瀬 加代子 (74)

平井 真理 (74)

◎松井 恵美子 (71)

広報 中陳 きよみ (70)

武田 紀子 (70)

今北 信子 (75)

◎宮本 美和 (91)

会計 青柳 陽子 (76)

可兒 恵子 (76)

書記 岩崎 えり子 (78)

HP 担当 渡辺 朋子 (78)

会計監査 吉益 美恵子 (67)

大島 治美 (77)

なお次の方々が退任されました。

今年度 副会長 小畑 葉子 (69)

昨年度 常任幹事

広報 渡邊 信子 (75)

広報 洞山 直美 (78)

厚生 鍋田 茂子 (79)

長い間、ご尽力下さりありがとうございました。

11. 同窓会より

大学創立 100 周年に向けての記念事業を今年度もいろいろ企画いたしました。ご参加をお待ちしております。

また、6 月の総会にて「同窓会の法人化」が承認されました。2017 年 4 月に一般社団法人となるよう準備をしています。会報や同窓会 HP をご覧ください。

数専会の皆さまの同窓会活動へのご協力に感謝しております。



2 部 小館崇子先生講演会

「女子大学理系学科の

存在意義について」

深い内容をアンケートに基づき研究されたご講演に一同魅了されました。

参照 4 ページ



【 ごあいさつ 】

会長 松本 友子 (73)

日頃は数専会の活動にご理解、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

今年の秋の講演会は、昨年度、東京女子大学を定年退職されました杉山真澄先生をお迎えいたします。先生はご在職のかたわら、数専会の常任幹事も務められ、御尽力頂きました。勉強会の講師も長く担当され、講演会も度々開催して頂き興味深いお話を伺っております。

今回は講演会の後、引きつづき、大変お世話になりました先生への感謝の気持ちを込めて、先生を囲んで茶話会を開催いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

【 秋の講演会のご案内 】

杉山真澄先生を囲んで

会長のごあいさつにあるとおり、秋の講演会を下記のように開きますので、ご案内申し上げます。

記

日時 2015 年 11 月 28 日 (土) 午後 1 時半 ～ 4 時

場所 72 年館 1 階ラウンジ

演題 『 数学よもやま話 』

会費 講演会 1,000 円 茶話会 2,000 円

お申し込み・お問い合わせ

11 月 20 日 (金) までに

Tel ***** 担当 今北信子へ

準備の都合上、お名前、卒年、ご住所を必ずご連絡下さい。

【夏 季 研 修 会】

日時 2015 年 7 月 4 日 (土)

於 東京女子大学同窓会館 72 年館 1 階ラウンジ

*講演要旨(3 ページ)

*夏季研修会の感想を下記に掲載

プログラム

◇12 時～13 時

昼食・懇親会

◇13 時半～15 時半

『浮世絵を読む～江戸の大地震～』

江戸で生まれ、江戸の人々に広く親しまれた浮世絵。そこには大衆の目線で江戸の「浮世(いま)」が生き生きと描かれています。

安政 2 年(1855) 10 月に起こった大きな地震を通し、江戸の人々はこの大地震をどう捉え、対処したのかを浮世絵から読みときます。

江戸文化研究者

森山 暁子氏



講師紹介

◇森山 暁子氏

2005 年、東京大学大学院総合文化研究科 修士課程を修了。

歌舞伎を中心とする古典芸能および浮世絵の研究を行い、多くの大学・市民センターなどの講座で講師をつとめる。

『NHK 日本の伝統芸能』(NHK 出版) 等著書多数

【夏季研修会に参加して】

浮世絵の楽しさ 再発見

荒木祐子 (77)

小雨降る土曜日、目にも涼しげな白藍のお召し物でお出かけくださった森山暁子先生のお姿に、講演前からいやが上にも期待が膨らみます。

私はドイツ在住当時、彼地の歴史学者がさかんに論争を交わして世論に影響を与えているのを見聞きし、比べて日本では歴史がただ記憶するだけの扱いで残念に思っておりましたところ、講演の冒頭で先生が「江戸と東京を結ぶ研究」をされていると紹介されましたので、我が意を得たり、と、拝聴にもいっそう身が入りました。

先生は江戸末期の安政二年に起きた大地震前後の世相を、浮世絵を通してわかりやすく説明されました。折しもペリー来航寸前、のちに『無安政 地震津波に大嵐 ころり大火に桜田の難』と狂歌ではやされた落着かない時代でした。

常陸鹿島神宮の建御雷之神が鯰を要石で押さえ込んでいる浮世絵<しばらくのそとね>で、「鯰が暴れると地震が起きる」という迷信の由来がすんなり頭に入りました。時は神無月二日、建御雷之神が神々の集まる出雲に出かけた隙に押さえがとれて鯰が暴れて地震が起きてしまった、という、当時の理屈もとてもよくわかります。

浮世絵は地震後の様子、復興の速さも私たちに教えてくれます。

大地震後わずか 2 日で<関東類焼 大地震>の元絵となる挿絵をつけて瓦版を出したジャーナリストの気概、現代に通じるものを感じます。

安政大地震後 2 か月ほどの間に大量に刷られた鯰絵の無記名が検閲避けというのは初めて知りました。海外に渡って初めて芸術的価値の見いだされた浮世絵で

したが、元々は写真代わりのもの、責任の所在を明らかにするために絵師の名が残されていたのですね。高い技術を持つ彫師や刷師の名がないことが不服でしたが、先生のこの説明に得心しました。

五重塔の九輪が折れ曲がっている<浅草寺大塔解釋>で、東日本大震災後の東京タワーを思い浮かべました。先の曲がった東京タワーもいつの間にか直っていましたが、地震の 9 か月後に安藤広重が江戸名所百景<浅草金龍山>ではやくも九輪が修復された様子を描いているのも驚きでした。

そして<地震出火後日角力>他の皮肉な絵のおもしろいこと。フランスの風刺画のような毒はなく、庶民の憂さを晴らす一端を担ったに違いありません。

東日本大震災では震源地から遠く離れているにもかかわらず生活に不便を感じ、流れてくる映像と情報に、何か月も気力のない日々を過ごしました。江戸の人々も不安な気持ちは現代と同じ、むしろ迫り来る維新の足音に今以上に落ち着かなかったのではないのでしょうか。にもかかわらず、生活を立て直し、新しい世を作るたくましい姿を浮世絵から垣間見ることができました。

浮世絵の芸術性ばかりかその脆さを見抜いたスボルディング兄弟。展示禁止を条件に蒐集品をボストン美術館に寄贈し、近年それを広く鑑賞できるようデジタル画像にしたおかげで、私たちはオリジナルに近いものを楽しむことができるというのも、ありがたいことです。

浮世絵を見る機会には、表現者の意図を探るよう、細部も鑑賞することを心がけます。

これまでジャポニズムの象徴程度にしか考えていなかった浮世絵の奥深さをご教示くださいました森山先生にあらためて感謝申し上げます。

浮世絵を読む～江戸の大地震

(森山暁子先生ご寄稿による夏季研修会講演要旨)

【浮世絵から江戸を読む】

浮世絵は、江戸時代に江戸の地で生まれました。「浮世」とは「いま」のことで、浮世絵は江戸の社会のようすを生き生きと描いています。また、木版画の浮世絵は量産される商品でもあり、売上を増やすためにはお客の心を掴む工夫が必要。つまり、浮世絵は江戸の人の心を映すものでもあります。

私たちの暮らす土地の歴史や慣わしの由来をたどると、その多くは江戸時代に生まれています。江戸を知ることは現代を知ることでもあり、浮世絵はその大きな手掛かりとなります。

【江戸の大地震】

日本は地震が多い国と言われますが、江戸時代にもいくつか大きな地震がありました。今回取り上げるのは、安政の大地震です。発生したのは安政2年（1855）10月2日の夜。江戸直下型の大きな地震で火災も多く発生し、江戸のまちに甚大な被害をもたらしました。

地震はなぜ起きるのか。江戸の人々は、地下の大鯰が暴れることが原因と考えていました。ふだんは常陸国（茨城県）の鹿島神宮にいらっしゃる武御雷之神（たけいかづちのかみ）が、要石（かなめいし）で大鯰を押さえ込んでいます。ところが安政の大地震が起きたのは10月。神無月で武御雷之神が出雲大社にお出かけになっている間に要石が外れて、大鯰が暴れた...ということになるのです。

【鯰絵の出版】

安政の大地震の後、大量に出版されたのが「鯰絵」とよばれる地震を主題とした浮世絵でした。地震の元凶である鯰を擬人化するなどして描いたもので、地震の顛末を描いたり、被害のようすを伝えたり、さまざまな内容のものがあります。通常、浮世絵は検閲を経て出版されるものでしたが、地震後の非常時はスピード勝負で、鯰絵は無許可のまま出版されました。いわば非合法の出版物ですから、絵師や版元の名もほとんど記されません。どのような人がどのような形で鯰絵を作成し、広まったかは明らかでない部分も多いのですが、取締りが厳しくなるまでの約2ヶ月半の間に、200種類以上が出版されたと言われています。

しばらくのそと寝



『しばらくのそと寝』という一枚は、歌舞伎でおなじみの正義のヒーローである暫（しばらく）が武御雷之神に見立てられ、要石で鯰坊主を押さえつけています。タイトルは、「つらね」という暫の芝居でお約束の長いせりふにかけて、家が壊れてしばらくは野宿（外寝）

をするという洒落から。こうして身近なものに重ね、ユーモアも交えた鯰絵によって、無事を願うとともに地震の恐怖に打ち勝ち、心を明るくしようとする姿勢が窺われます。

【鯰絵と世直し】

鯰絵が出版されたのは幕末。ペリーが率いる東インド艦隊が浦賀に来航し、翌年には日米和親条約が締結され、さらにその翌年に安政の大地震が発生します。これから何が起きるのか、日本はどうなるのか、先行きに対する不安が募りつつある時代でした。行き詰った社会を批判し変革を願う世直（よなお）しの思想は、安政の大地震を機ににわかに広まり、それは鯰絵にも反映されてゆきます。

『世直し鯰の情（なさけ）』という一枚では、倒壊した建物の下から人々を鯰が救っています。地震の被害やさまざまな施策によって、実際には貧富の差が縮小されることになったという側面を踏まえて、じつは鯰（地震）こそが人々を助け世直しを起こす、そうした意図が込められています。

【江戸の復興と浮世絵】

地震の被害からたくましく復興する江戸のまちのようすも、浮世絵には描かれています。

安政3年（1856）7月、歌川広重は『名所江戸百景』という連作のなかで浅草寺を描きました。安政の大地震では、江戸の名所・浅草寺の五重塔の九輪（屋根の上の輪状の装飾）が曲がってしまい、大変なニュースとなりました。その修復が済んだのは翌年5月

のこと。2ヶ月後に描かれたこの浮世絵では五重塔の九輪が元のようにまっすぐに伸び、それを祝うかのように雪と建物が紅白の色あいで描かれています。災害をのりこえてこの浮世絵を目にした江戸の人々の気持ちは、いかばかりでしょうか。

地震にまつわる浮世絵からは、当時の人々の心や知恵が読み取れるように思います。今日のお話があるのヒントになりましたら幸いです。

世直し鯰の情



名所江戸百景 浅草金龍山



女性学研究所プロジェクト研究「女子大学理系学科の存在意義について」報告

数理科学科情報理学専攻
講師 小館崇子 (90, 92 院)

6月6日(土)の総会後、本学女性学研究所のプロジェクト研究「女子大学理系学科の存在意義について」の報告をするという貴重な機会を頂戴しました。本プロジェクトは、2018年に100周年を迎える本学および数理科学科の魅力を探るため、文系のメンバーも加えた超領域のチームで、2010~13年度にかけて3年間実施したものです。

近年の少子化問題や高等教育自体が国際競争にさらされる中、大学は、国公立・私立や共学・女子大の区別なく、優秀な(女子)学生を獲得しようと躍起になっています。私達の数理科学科も、時代の要請に応えるべく、2009年4月より数理科学科として再編され、数学専攻と情報理学専攻に分かれました。両専攻ともに数学の基礎をしっかりと学ぶ、という伝統および方針は変えない一方で、現代日本および国際社会にも対応できる人材を育てるべく努力しております。数理科学科に入学してくる学生は、必ずしも第一志望ばかりではないようですが、学年が上がるにつれて学生生活を楽しむようになり、とても満足して卒業していきます。数理科学科の良さは入ってからしかわからない、ということではなく、その良さを受験生やご家族、広く世間にも伝え、他の大学と比べてどこが優れているのか、ということデータをきちんと整理したい、本プロジェクトは、こうした意図と目的で行われました。本プロジェクトは、大きく分けて東京女子大学の理系教育の歴史、在校生及び卒業生アンケート、そして、理系学部を持つ日本の女子大学の学長およびアメリカの女子大学教員アンケートと、3部構成になっています。詳しい内容につきましては、東京女子大学女性学研究所研究報告35『女子大学理系学科の意義について』(共著:小口菜採、小館尚文、高橋尚子(2014))に譲りたいと思いますが、以下、今回報告いたしました内容を簡単にまとめたいと思います。

まず、数理科学科の歴史を見直しましたが、1927年当時、女子大学としては初めて数学を専門とする数学専攻部を設け、男子校でも教鞭が取れる無試験検定資格を取得したという史実の重要性を再確認しました。安井てつ先生ははじめ当時の先生方の女子教育への熱い思いが伝わってきます。そして、数理科学科の現状把握を目的として行った在校生アンケートですが、その結果からは専攻間の違いは見られませんでした。「理系で良かったですか」という問いについては、両専攻ともに95%以上の肯定的回答でした。ただし、数学専攻では、「本学で良かった」94%に対し、「女子大学

で学んで良かった」76%、という回答で、これは女子大学の特性よりも、本学自体に満足している、と理解できそうです。また、卒業生アンケートには、実に800名近くの先輩方から回答を頂戴することができました(2010年3月までの卒業生は3370名で、回収率は約29%)。データを年代別に分析した結果、東京女子大に進学した理由として、30代以下は「親や親戚の勧め」、40~50代では「偏差値や大学名」が多く、60代以上では、「特定の分野の勉強」「大卒資格」「知識や教養の取得」などが並びました。「理系を選択して良かったですか」という質問では、20~40代は60%以上が良かったと回答しているのに対し、60~70代では40%程度、50代と80歳以上では50%とやや低目になっています。本学で身につけた学問や知識を卒業後に社会に直接役立てるという機会が多くはなかったというような時代背景や、男女雇用機会均等法による社会的変化なども影響しているかもしれません。「東京女子大で学んで良かったですか」という質問では、良かったという回答は、50代が35%と低いのですが、20代、70代以上になると68%を超え、高い満足度を示しています。「卒業生であることに誇りを持っていますか」という質問に対しての回答も類似の結果でした。年代別に異なる結果の理由について、本格的分析を行うことは、アンケートという手法のみでは困難ですが、ひとつ言えることは、卒業生、在学生ともに数理科学科への進学に対する満足度は高く、これからも「母校は良い大学だった、楽しかった」と言ってもらえるような大学・学科でなければならないということです。

多くの方々のご協力のおかげで、本プロジェクトを通じてたくさんの貴重なデータを集めることができました。紙面の制約上、報告書に掲載できなかったデータもあり、本年度は、さらに理解を深めるため、女性学研究所の支援で個人研究を行っております。前回よりもずっと小規模で簡素なアンケートになりますので、是非ご協力お願い致します。Webでの回答は<https://webclass.twcu.ac.jp/>から可能で、「ゲスト」としてログインした後、math6というパスワードをご入力下さい。また、プロジェクト研究の報告集は、アンケートにご協力頂き、結果にご関心のある方に差し上げます。kodate@lab.twcu.ac.jpまでお名前、ご住所をご一報下さい。最後になりましたが、当プロジェクトにご協力頂いた先輩方、そして、報告の機会を下さった数専会の皆様にこの場を借りて、深謝致します。

私の歩んだ道

井上 久仁子 (50)

1. 軍国少女が東京女子大で様変わり

川崎の通信機器工場に通い、高等女学校 4 年で終戦を迎えた。GHQ が進駐して教師たちの言動が変貌するのは理屈ではわかったが、教師にはなるまい、これからの女性として自立して結婚はしないと決心した。新宿界隈には心が痛む戦災孤児、街娼、靴磨きの姿があったが、自由な精神に溢れた本校に入学して、毎日の帰路を共にしたクリスチャンの友人からの本や話に世界が広がった。同時に自分の無知を知って焦った。ある日級友のご主人に呼ばれ、学友(井上)との付き合いを人生勉強だと強引に薦められ、断りきれなかった。結婚はしないつもりで文部省統計数理研究所に就職したが、彼の博学と人柄に気持ちは変わっていった。

2. 結婚したので司書に、難産でノイローゼに

結婚休暇を申し出たら「女性は結婚で止めてもらう内規がある。日時は書かない辞表を書くように」「職場に結婚した女性がいると職場の清新の気が失われる」とまで言われた。1 年半後に私は鼠、虫、黴で使用不能な図書室を整備するよう命ぜられた。そこで母校の図書館へ伺い司書になることを勧められ、国会図書館の講座を受けて国家試験に合格した。折しも図書室の移転が決まり、図書室の設計や設備、運営の予算立てを任せられ、増員も決まった。

子供は絶対ほしかったが見通しがなかった。その時期、新聞の岩波書店の女性を中心に「働く母の会」が結成された記事に励まされ妊娠したが、体調が悪かったのに予定日 3 週間前まで働き、20 時間も失神する難産と後遺症で 4 ヶ月休職し、産後 1 年間続く頭痛、そしてついに鬱病になった。無気力で友人とも話したくなかったが、子供が見てくれる背中にならなくてとは気づき、まず英文の書物を把握するために千駄ヶ谷の津田塾英語会で週 3 回学んだ。

3. 無力の社会人から再出発まで 転職に成功

司書にとって悩ましいのは新分野の分類作業だが、英語の学力上昇は、コンピューターソフト(夫の専門)の本で効果をみせ、もう一歩理解を深めたくて夫の部下にそっと教を請うた。彼女の指導のおかげで掲載されている練習問題にも取り組んだ。とにかく職場をやめたかった。ついに 1962 年 1 月から通商産業省(現:経済産業省)の機械研(機械技術研究所、当時機械試験所、現:独立法人産業技術総合研究所)に子持ちの 32 才が幸運にも出向が決まった。

4. 研究者の自立と二つの賞

当時の課長はアメリカでの研修を経てコンピューターへのビジョンがあった。工場の自動化に有効なデジタル論理素子の動作や石油蒸溜塔のシミュレーションのソフトを作成し発表した。シチズン時計(株)との共同研究が精機学会(現:精密工学会)の大越記念会第一回目の 39 才以下への賞を受け、独自の研究目標を意識し始めた。

アメリカでは IBM が NC 工作機械を対象としたソフトとして APT を提供し始めたが、ユーザーに十分な情報が渡されないため、問題点を探るなど研究会や実験を続け、適応

制御旋盤の優秀な研究グループと合流し、NC 旋盤のための NC データーを作成するソフト(MELTS)の研究スケジュールを立ち上げ、特別研究として承認された。旋盤加工の部品図から直感できるパターンの組み合わせによって MELTS の各ステージにおける処理の流れが見やすくなると発表し、1976 年に青木記念論文賞に選ばれた。それらが東大精密機械工学科で審査されたドクター論文に繋がった。

5. MELTS(当初 KKTS)の開発研究

日本は最高レベルの旋盤工に恵まれていたが、製品精度や生産量の向上に迫られ、NC 旋盤の生産台数が 1970 年代に急激に増加し始めた。私は優秀な旋盤工のノウハウ及び蓄積されたデーターの取り込みで充実した NC データーを出力するソフト開発のスーパーバイザーとなった。欧米では、APT の他に NC 工作機械全般に渡って大小のシステムが作成されていたが、実用レベルは低かった。本研究開発は大型コンピューターが必要なので、日本一の FACOM 230-60(日本情報処理開発センター、東京タワーのそば)を利用し始めていた。1972 年第 6 回日本国際工作機械見本市(月島会場)に、開発が始まったばかりのソフト、愛称 KKTS を出品することが決定された。出品の第一の目玉は「オンライン適応制御旋盤 MELAC-L」(設計:機械研、製造:三菱重工業)だ。第二の目玉は KKTS である。適応制御装置の小型コンピューター FACOM R-E(会場)から加工部品のデーター(KKTS 言語プログラム)を電話回線で FACOM 230-60 の KKTS に送り、作成された NC データーが会場に返送されて紙テープにパンチされる。次に MELAC-L での加工実験が開始される。目には見えない KKTS に思いを馳せて多くの見学者が注目してくれた。

FACOM 230-60 の借用にあたっては、山本欣子部長(1949 卒)のチームから多大な援助があり、感謝している。見本市終了後はシステム全体を充実し、日立精機(株)の協力による数々のテストの結果、複雑な加工にも適応できる事が立証された。多方面から共同研究や一般公開の希望があったのにソフトの公開を躊躇する世界的な風潮に阻まれ、主張しきれず残念だった。

6. おわりに

通産省の 16 の研究所の中で第二番目の女性課長という名誉を頂いた。短い就任期間であったが、CAD システムを家内工業のレベルでも使用できるよう、県の工業試験所(現:工業技術センター)が指導するための勉強会を立ち上げた。大阪や東京及び周辺の工業試験所の協力を得て充実した。

定年後も 70 才まで早稲田大学機械工学科で数値制御工学を講義した(非常勤)が、退職後は若者に夢を語れず反省が多い。

日本は戦後 70 年の体験を生かし、地球を護る研究に協力しあえる環境を導く国になるべきだと思う。戦争を絶対にしない意思表示をするのが最後の宿題だと自分に呟いている。

【会計・会計監査より】

2014 年度の決算を上記のとおり報告いたします。

会長	松本 友子
会計	可兒 恵子
	青柳 陽子

精査の結果、相違ないことを認めます。

2015 年 5 月 12 日

会計監査	大島 治 美
	吉益 美恵子

【会計より】

2015 年度の予算が総会にて上記のとおり承認されました。

今年度も、基金を利用して夏の研修会、秋の講演会を数専会主催で開催致します。

維持運営費の振り込み用紙が同封されている方はお納め下さい。卒後 50 年で完納となりますが、その後もご協力いただける場合は、寄付金としてお受けしておりますのでよろしくお願いいたします。

なお、払込み手数料は自己負担でお願いします。

【庶務（住所管理担当）より】

転送された手紙を受け取られたら新住所をご連絡下さい。(転送期間は一年です) 改姓、名簿変更などは数専会 HP、葉書、などで必ずお知らせ下さい。クラス会開催等で名簿が必要な時は、ご連絡下さい。

【HP 担当より】

数専会の HP では、現在の活動状況や連絡事項、数専会に関わる記事や資料をお読みいただくことが出来ます。「クラス会」のページでは、会員皆さまのご近況を発信しています。

クラス会・同窓会を催される際は、どうぞ写真や簡単な記事を HP にお寄せ下さい。住所変更、出版などの情報も HP からご連絡可能です。「東京女子大学数専会」で検索するか、下記①の URL を入力すると閲覧出来ます。メールでご連絡頂く場合は、下記②のアドレスにお願い致します。

- ①<http://www.geocities.jp/twcumath/index.html>
②twcumath@yahoo.co.jp

【厚生部より】

求職の希望がある方は、厚生部に連絡先をご登録下さい。登録された方には、求人情報が来た時に厚生部よりお知らせいたします。

HP の厚生部求人情報にも掲載いたしております。ご利用の際は担当までご連絡ください。

前田啓子 (75)

【パソコン講座 運営管理委員会より】

昨年に引き続き Word2010、Excel2010、photoshop の講座を開設しています。詳細は、お気軽に数専会までお尋ね下さい。



2015 年度常任幹事

2015 年度勉強会案内

ゼミ	テキスト	日時(注)	場所	会費 /月	世話人
高村多賀子ゼミ(51)	数学の流れ30講(下) (志賀浩二著 朝倉書店)	第3 火曜日 10:20~12:20	72 年館	2500 円	早川希尹子 (67)
高校数学					
茶園幸子ゼミ(69) ①・②どちらかのみの 参加も可能	①4STEP 数学Ⅲ+C (数研出版) ②中学受験 算数/プラスワン 問題集	第2,4 木曜日 午前	武蔵野公会堂	2800 円 程度	可兒恵子(76)
吉祥寺ゼミ	クリアー数学演習 I・II A・ B 受験編 (数研出版)	月2 回金曜日 午前	武蔵野 商工会議所	1000 円 程度	山田洋子(66) 浅田志津(71)
パソコン					
My パソコン 戸塚三重子(66)	Word の楽しい使い方を プリントで	第1,3 水曜日 午前	72 年館	3000 円	山田洋子(66)
多面体 荒木純子(75)	プリント	第4 木曜日 13:30~16:00	72 年館	3000 円 /年	菊島永子(85)
自主ゼミ					
シニアパソコン 矢矧かつ子(51)	エクセル・フォトショップ	第1,3 火曜日 午前	72 年館	6000 円	橋本千枝(56)
プラムパソコン 荒木純子(75)	Word2010 プリント	第1,3 木曜日 午前	72 年館	4000 円	高林厚子(61)
パズル講座 荒木純子(75)	なし	第2 金曜日 午前	72 年館	3000 円 程度	荒木純子(75)

(注)午前:10:00~12:00

研究部 連絡先

大井美智子 (74) *****

廣瀬加代子 (74) *****

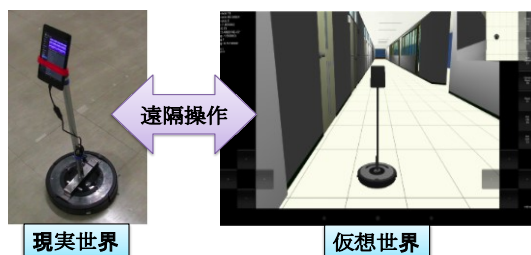
平井 真理 (74) *****

松井恵美子 (71) *****

加 藤 由 花 研 究 室

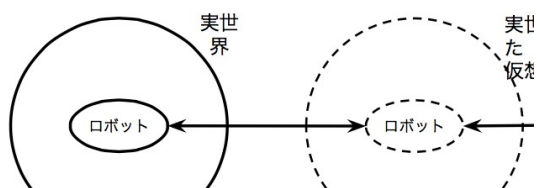
博士前期課程理学研究科数学専攻応用数理学専攻2年
秋山早弥香

最近、人が活動する場所でロボットを目にする機会が増えてきました。道案内や災害時救助など、様々な場面で見かけます。これらのロボットには移動機能のあるものも少なくありません。ネットワークを介してこれらのロボットを操作するとき、どのように操作することが出来るのでしょうか。

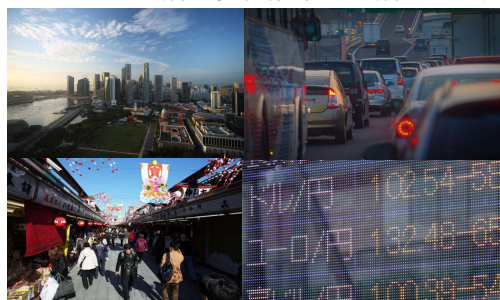


その方法の1つに現実世界に対応した仮想空間を用いた方法があります。この仮想空間とは人間が操作をする画面の中にある、現実世界をモデル化した世界のことです。この仮想世界を作るために現実世界の環境や人の動きなどの特徴を見つけ、数式などでモデル化し、そのモデルに従って実際に現実世界で操作し、うまく動作するかを検証します。これを繰り返し行うことで現実世界と仮想世界のずれを補正していき仮想世界を構築します。どの特徴を見つけ、数式などでモデル化し、そのモデルに従って実際に

現実世界で操作し、うまく動作するかを検証します。これを繰り返し行うことで現実世界と仮想世界のずれを補正していき仮想世界を構築します。



私たちの研究室はこのように、自然や社会の様々な現象から数理科学的な構造を見出し、その理論に従って数学的な分析を行い、実際の現象に戻って理論を検証し、さらにその理論を現代数学の理論として発展させる、と



いう数理科学的な考え方を実際の現象と理論に即して学ぶことを目標としています。

広島からの近況報告 ～女子大講演会のこと、支部のこと、私のこと～

立川 淑恵 (86)

◆「女子教育のこれからと平和」 講演会

元学長の湊晶子先生が現在学長としてご勤務されている広島女学院大学主催で、上記テーマの講演会が去る5月30日広島市内にて開催されました。講師は、東京女子大の小野祥子先生、津田塾大の國枝マリ先生、そして湊先生の三人の女性の女子大学長で、会場の600席が埋まり大盛会でした。

各女子大の歴史を振り返りながら、平和を実現するため、そして、いくつになっても生き生きと生きるためのヒントを頂いた、あつという間の二時間でした。

83歳の湊先生。未だに戦っておられるお姿と“vision, passion, mission”との力強いお言葉に胸打たれた方も多かったのではないのでしょうか。ご著書の「女性を生きる」が飛ぶように売れ、私も帰宅後、即完読いたしました。

小野先生の「あきらめないこと」、そして湊先生の「人と比べないこと」との揺るぎないメッセージと、ご経験に基づく迫力あるお話を伺

い、強烈なシャワーを浴びたような爽快感になることができた講演会でした。

その後の小野先生を囲んでの茶話会は、同窓会広島県支部長の藤野正子様のお世話により、中国地方はもとより、東京、四国からも30余名のご参加があり、話がつきないにぎやかな会になりました。

◆広島県支部の近況

支部では二年に一度、総会が開催されています。総会の前にアトラクションがあり、'11年は心理学科卒のNHKアナウンサー伊東敏恵さん、'14年は書家の田頭次哉先生をお招きしました。

昨年甚大な被害があった広島土砂災害ですが、該当地区の同窓生ではお一人転居された方がいらっしゃいますが、私も含めて皆無事です。

◆私の近況

私は広島市安佐北区の築125年の家屋に住み、古くて新しい、伝統かつ最先端、そんな生活を楽しんでいます。

中学校教諭を退職後、小さいながらもソフト開発会社を夫と立ち上げ、蔵を改装したオフィスでスタッフと共に仕事をしております。教育用や大学研究用の分野を中心に手がけております。

趣味で始めた箏曲も師範となり、マイペースですが演奏教授活動もしております。宮城道雄記念コンクール作曲部門で自演し第一位入賞、厳島神社奉納演奏、能舞台での独奏、また'13年の支部総会で演奏の機会も頂き、皆様から温かいお言葉を頂戴いたしました。有り難いご縁に感謝しつつ…今秋はウィーンで演奏予定、夢のようです。

◆最後に

やることが山積みの日々ですが、湊先生のお言葉「いくつになっても輝く事ができる」を励みに、毎日残りの人生の初日を過ごしたいと思っています。

私が目指す“♪コンピューターおばあちゃん”にいつなれるかしら。上京したときにはお会いしましょう。

クラスの仲間に助けられ感謝

高橋尚子 (80)

ついに「お当番の年」がきました。昨年「来年は園遊会のバザー担当の年ですから、今年は様子を見に来てください。来年は必ず来てください」との連絡を頂きました。しかし、祝日というのに大学の授業があり行くことができず、クラスの仲間にお願ひしました。

そして今年、使わないブランドのシーツを持って、恐る恐る会場の新体育館に行きました。すると、何と楽しい風景、手作りの小物から海外のお土産まで、ヤミ市のように様々なものが並べられたブースに、シャキシャキとこなす先輩たち。やっぱり噂どおり、同窓会では50歳代はヒヨコです。何をしていたかウロウロしながら、クラス会で集まった仲間に助けられ、無事お役目を果たすことができました。卒業して35年たっても助けてくれるクラスの仲間は本当にありがたく、最後まで付き合ってくれて感謝です。

計算折紙と工学応用（秋の講演会より）

日時 2014年11月15日（土）

於 東京女子大学同窓会館 72 年館

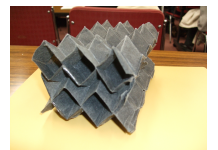
講師 舘 知宏氏

（東京大学大学院総合文化研究科助教）



欲しい形を折るためには、どのような折り線を入れればよいかをコンピューターで計算する計算折紙のお話でした。平らな建材を折るようにして立体の建築物にすれば足場を組む必要もなくなり、使用後にたたむこともできるので、仮設住宅など何度でも使う事が出来る。

又、折紙の原理は建築分野だけでなく、医療や宇宙などの広い分野で注目されている新分野であり、とても興味深いお話でした。



【編集後記】

会員の皆様の充実した活動を少しでもご紹介できましたら幸いです。更に多くの方々のご参加をお待ちしております。なお、数専会維持運営のため、寄付のご協力をお願いいたします。

振込先…東京女子大学同窓会数専会<口座記号番号> *****